



2017年度退職者送別会を開催

2月17日（土）SKホールにおいて2017年度退職者送別会を開催しました。今年度は少数の参加となりましたが、お忙しい中、退職を迎えるられる先輩方に活力を保つことができました。お集まりいただき、お酒もたれました。

心から感謝を申し上げるとともに、引き継いだ私たちにはさらに強固な組織として入れながら楽しく飲話をしました。参加者全員から一言ずつ心のこもったご挨拶をいただき、昔を懐かってきました諸先輩方の多大な努力があつたからこそで、退職を迎えた先輩方に活力を保つことができました。そうした先輩方が卒業を迎えようとしています。

（渡辺歩）



退職手当引下げ反対闘争

最終局面で調整額ポイントの引上げを勝ち取り妥結



国家公務員の退職手当引下げに端を発する退職手当削減反対闘争は、最終局面で区長会がわれの主張を一定程度踏みれた再提案を示したことから、中央委員会で受け入れを判断しました。国や他団体の意見も考慮して決断された成績は、各文部省が最後まで集中を切らすことなく闘いに結集し、特区起集会や要請行動、区長会との合同総決起集会や要請行動、区長会での座り込み行動、東京清掃組合

第13回一組総支部定期大会・新春交歓会を開催

一組総支部は2018年2月9日に第13回定期大会、2月20日に旗開きにあたる新春交歓会を開催しました。定期大会は議長に下本さん（葛飾工場支部）を選出し、米賀の桐田委員長から私たち清掃事業で働く労働者の労働条件を改善し、良質な公共サービスの拡充に結び付ける運動を進めようとした動きの拡大を受けた後、西村書記長から経過報告山崎副委員長から運動方針を提起し、拍手で確認されました。また長年、東京清掃本部でも活動して来られた山崎副委員長、細貝組織部長、駒井賃金部長が退任され、新たに小野組織部長、古賀賃金部長が就任されました。

新春交歓会では、はじめ

ての取り組みとして各清掃工場の工場長をお招きしての開催となりました。結果と

して、昨年を上回る約10

0名の方に参加いただき、

会場であるアラザドでは、

終始和やかな空気感で来賓

の皆さまをはじめ労使の親睦を深めることができまし

た。



▲第13回一組総支部定期大会

全国唯一の職能別組織としての歴史と伝統を守ろう！！

都市清掃労働組合協議会が第73回定期大会を開催

は2月22日から24日にかけて、仙台市で第73回定期大会を開催しました。全国から27単組109名の清掃労働者が結集し、東京清掃からも7名が参加してきました。大會はまず古川議長（大阪）の挨拶を受け、自治労中央本部・近畿労働組合・仙台市環境局遠藤次長から激励の挨拶を受けました。2日目は記念講演として、全清の大熊氏から「廃棄物処理」

について語りました。

（渡辺歩）



（1面から続く）事業の確立にむけて、東京清掃が自らの経験をもとに、労働条件の向上なくして取り組んでいかなければなりません。30年前には50%であった全国の清掃事業の直営率が20%を割ろうとしています。民間に出来ることは民間問題に、委託すれば安く出来るという発想のもと、激しい清掃事業は、住環境を守るためにごみを衛生的に適正に処理をすることだけではなく、高齢化社会への対応や災害対策など、様々な社会的サービスが求められています。清掃事業は、公的的な業務であり、民間の自由競争に委ねられるものではないです。住民が安全で安心して暮らしていけるよう「良質な公共サービスとしての清掃事業」はあります。

（2面から続く）

京清掃が自らの経験をもとに、自治研などを通じてし
づかり発信していかなければなりません。また、安上がりの民間委託の実態。それは、民間の地方公務員法、地方自治法の一改定により2020年から会計年度雇用職員の低賃金にあります。ごみのトン当たりの費用を比較すれば人件費の低い民間が安く上がる。このこと公務員賃金、現業職賃金が高いということに緊

密につながっています。清掃事業者が無職状態で働くそれが無職状態で働くされない限りしていません。安易な委託、そのしわ寄せは労働者にむけられます。清掃事務は、本部体制の見直しを行つて組合活動に対する干

渉が強まるなかで、23区を横断する単一の労働組合で構成する東京清掃が職場の運動権を確立するなかで、目の当たりにしました。しかし、私たちの道は茨の道とも言われます。しかし、私たちの道を歩み続け、今も強

い運動に結集してきたからだと思います。さらに職業能効の単一労組としての道を選択しました。当時の職業能効の単一労組としての道を選択しました。しかし、私たちの道を歩み続け、今も強

い運動に結集してきたからです。東京清掃は23区を横断する職業能効の単一労組としての道を選択しました。当時の職業能効の単一労組としての道を選択しました。しかし、私たちの道を歩み続け、今も強

い運動に結集してきたから

課題を克服し団結を強化

東京清掃労働組合本部新執行体制



今大会で退任された皆様
ご尽力に感謝します

桐田 達也 (文京支部)
野崎 優三 (板橋東支部)
泉田 和明 (北支部)
安藤 貴志 (品川支部)
国島 行祐 (目黒支部)
米脇 亨 (中野支部)
内山 健司 (練馬工場支部)
田中 文男 (新宿支部)

○2018年度会計監事

桜澤 幸男 (練馬支部)
塩田 修 (練馬工場支部)
橋本 博之 (葛飾支部)

木村 秀昭
(江東区)
■各区選出執行委員

金子 達也
(江戸川区)
■各区選出執行委員

水落 康治
(葛飾区)
■各区選出執行委員

○2018年度特別中央執行委員

桐田 達也 (東京平和運動センター事務局長)
金澤 壽 (全労協議長)
高木 陽介 (青年部長)

金子 信之
(一組)
■各区選出執行委員

長妻 芳典
(墨田区)
■各区選出執行委員